



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社

コード番号 9873 URL <http://japan.kfc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 渡辺 正夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットゼネラルマネージャー (氏名) 渡辺 悦男

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 03-3719-0231

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,175	0.2	823	△32.7	895	△28.7	504	△29.0
24年3月期第2四半期	42,080	△0.9	1,223	△28.8	1,255	△30.2	710	△16.8

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 497百万円 (△29.9%) 24年3月期第2四半期 710百万円 (△16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.47	—
24年3月期第2四半期	31.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	40,585	23,073	56.9	1,028.11
24年3月期	41,383	23,153	55.9	1,031.31

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 23,073百万円 24年3月期 23,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
25年3月期	—	25.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	4.4	2,800	17.1	2,900	17.4	1,600	45.1	71.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	22,783,000 株	24年3月期	22,783,000 株
25年3月期2Q	340,519 株	24年3月期	332,167 株
25年3月期2Q	22,446,093 株	24年3月期2Q	22,468,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に牽引され、緩やかな景気回復基調ではあるものの、長期化する欧州債務問題や円高などにより、先行きは不透明な状態が続いております。

外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識は依然として根強いことを背景に、個人消費の回復力は想定以上に弱く、さらには食材価格の高騰など企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、当連結会計年度が初年度となる新中期経営計画『A B R 2014-Achieving Breakthrough Results 2nd Stage-』に基づき、「K F C事業の新たな挑戦」「ピザハット事業の構造改革」「新規事業のビジネスモデル確立」を重点施策と位置づけ、ブランド価値の一層の向上を目指すとともにその確実な実現に向け、「I Tの戦略的活用と新しいマーケティング手法の確立」「人材育成と組織能力の強化」「事業基盤の強化」を掲げ、迅速且つ機動的に実行してまいりました。

また、「食の安全・安心」に注力するとともに、新商品の投入やマスメディアやソーシャルメディアなどといったクロスメディアの活用による広告宣伝活動や新業態店舗を立ち上げるなど前向きな攻めの施策を展開いたしました。

しかしながら、長引く景気低迷から消費者の節約志向の恒常化の影響により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は421億7千5百万円（対前年同期比0.2%増）、営業利益は8億2千3百万円（同32.7%減）、経常利益は8億9千5百万円（同28.7%減）、四半期純利益は5億4百万円（同29.0%減）となりましたが、新中期経営計画「A B R 2014」達成に向け、引き続き、計画に基づいた戦略的投資を実施してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は7億9千8百万円減少し、405億8千5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加2億6千6百万円、たな卸資産の減少1億6千9百万円、未収入金の減少3億1千5百万円及び有形・無形固定資産の減少4億1千4百万円等によるものであります。

負債は7億1千7百万円減少し、175億1千1百万円となりました。その主な要因は、買掛金の減少1億7千2百万円及び未払金の減少5億3千2百万円等によるものであります。

純資産は230億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千万円減少し、自己資本比率は56.9%となっております。その主な要因は、四半期純利益の計上5億4百万円、剰余金の配当による減少5億6千1百万円及び自己株式の取得による減少1千7百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7億3千3百万円減少し、103億2千5百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは18億1千万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益9億3千万円、減価償却費11億7千3百万円、たな卸資産の減少1億6千9百万円、仕入債務の減少1億7千2百万円及び未払金の減少3億7百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは18億5千6百万円の支出となりました。その主な要因は、有価証券の取得による支出40億円、有価証券の償還による収入30億円及び有形・無形固定資産の取得による支出9億3千1百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは6億8千7百万円の支出となりました。これは、配当金の支払額5億6千3百万円、リース債務の返済による支出1億6百万円及び自己株式の取得による支出1千7百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては平成24年4月25日に公表しました「平成24年3月期決算短信」に記載の平成25年3月期の通期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べて営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が11百万円それぞれ増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,058	13,325
売掛金	3,945	3,974
有価証券	3,999	4,000
商品	620	451
原材料及び貯蔵品	113	113
前払費用	446	490
短期貸付金	9	8
繰延税金資産	408	396
その他	1,115	765
貸倒引当金	△216	△268
流動資産合計	23,500	23,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,418	2,359
土地	2,647	2,647
その他（純額）	1,615	1,523
有形固定資産合計	6,681	6,530
無形固定資産		
のれん	7	5
ソフトウェア	2,173	2,702
ソフトウェア仮勘定	836	48
その他	110	109
無形固定資産合計	3,128	2,865
投資その他の資産		
投資有価証券	154	143
差入保証金	6,006	5,954
繰延税金資産	1,711	1,675
その他	378	333
貸倒引当金	△177	△175
投資その他の資産合計	8,072	7,931
固定資産合計	17,882	17,327
資産合計	41,383	40,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,603	7,431
未払金	4,451	3,919
リース債務	193	206
未払法人税等	233	440
未払費用	188	213
賞与引当金	448	405
役員賞与引当金	32	—
資産除去債務	1	4
その他	683	713
流動負債合計	13,837	13,335
固定負債		
リース債務	359	299
退職給付引当金	2,679	2,696
役員退職慰労引当金	50	57
ポイント引当金	96	91
長期前受収益	34	—
資産除去債務	599	615
その他	571	415
固定負債合計	4,392	4,175
負債合計	18,229	17,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	10,430	10,430
利益剰余金	6,083	6,027
自己株式	△683	△700
株主資本合計	23,128	23,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	19
その他の包括利益累計額合計	25	19
純資産合計	23,153	23,073
負債純資産合計	41,383	40,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	42,080	42,175
売上原価	22,582	22,794
売上総利益	19,498	19,380
販売費及び一般管理費	18,274	18,556
営業利益	1,223	823
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	1	1
受取賃貸料	106	126
その他	11	17
営業外収益合計	126	152
営業外費用		
支払利息	7	7
店舗改装等固定資産除却損	31	17
賃貸費用	46	49
その他	9	6
営業外費用合計	94	80
経常利益	1,255	895
特別利益		
固定資産売却益	0	—
店舗譲渡益	—	14
受取補償金	—	41
収用補償金	41	—
その他	40	—
特別利益合計	82	56
特別損失		
固定資産除却損	14	18
店舗閉鎖損失	1	1
早期割増退職金	6	—
減損損失	8	0
特別損失合計	31	20
税金等調整前四半期純利益	1,306	930
法人税、住民税及び事業税	279	375
法人税等調整額	316	51
法人税等合計	595	426
少数株主損益調整前四半期純利益	710	504
四半期純利益	710	504

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710	504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△6
その他の包括利益合計	△0	△6
四半期包括利益	710	497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710	497
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,306	930
減価償却費	1,137	1,173
減損損失	8	0
有形固定資産除却損	36	22
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
受取補償金	—	△42
収用補償金	△41	—
店舗譲渡損益 (△は益)	—	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53	50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△445	△43
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	67	16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△64	6
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5	△4
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	7	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△219	25
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△167	169
仕入債務の増減額 (△は減少)	170	△172
未払金の増減額 (△は減少)	△431	△307
未払費用の増減額 (△は減少)	△34	25
前受収益の増減額 (△は減少)	△90	△90
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△76	139
その他	7	128
小計	1,038	1,981
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△973	△170
営業活動によるキャッシュ・フロー	64	1,810

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有価証券の取得による支出	△2,000	△4,000
有価証券の償還による収入	—	3,000
店舗譲渡による収入	31	29
有形固定資産の取得による支出	△622	△553
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△1,090	△377
貸付けによる支出	△3	△4
貸付金の回収による収入	5	5
敷金及び保証金の差入による支出	△63	△51
敷金及び保証金の回収による収入	161	95
その他	△3	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,585	△1,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△140	△17
リース債務の返済による支出	△76	△106
配当金の支払額	△566	△563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△784	△687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,304	△733
現金及び現金同等物の期首残高	13,808	11,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,503	10,325

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	K F C 事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	34,029	7,801	250	42,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	34,029	7,801	250	42,080
セグメント利益又は損失 (△)	3,178	△132	△37	3,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,007
全社費用(注)	△1,784
四半期連結損益計算書の営業利益	1,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	K F C 事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	34,137	7,788	249	42,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	34,137	7,788	249	42,175
セグメント利益又は損失 (△)	3,019	△75	△41	2,902

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,902
全社費用(注)	△2,078
四半期連結損益計算書の営業利益	823

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。